

問 1.

(解答例) 226文字

雄川の滝の近く、錦江町には同じ阿多火砕流の溶結凝灰岩にかかる神川大滝があり、雄大な滝をその上空に架けられた吊り橋から眺めることができる。霧島市には入戸火砕流の溶結凝灰岩に懸かる犬飼の滝があり、幕末に訪れた坂本龍馬が絶賛したと伝えられている。伊佐市の加久藤火砕流の溶結凝灰岩に懸かる曾木の滝は、滝幅が日本一と言われていることから「東洋のナイアガラ」と称され、豪快な瀑布は多くの観光客を魅了している。さつま町永野の観音滝も加久藤火砕流の溶結凝灰岩に懸かる。

問 2.

(解答例) 237文字

明治政府が官営模範工場の建設など先進的な西洋技術の導入を進めていたころ、松方正義が推進した財政政策の松方デフレによって、鹿児島を含めた地方は不況に陥っていた。地方の衰退を目の当たりにした政府内の前田正名は、国内産業の実情や地方産業の優先的近代化策などを興業意見としてまとめ、政府に具申した。興業意見が受け入れられないとみるや、農商務省次官まで務めた官吏の座を捨て、全国の農業事情を詳細に視察し、農業こそが殖産興業の基本と説いて、みずから根占用水の開設や開墾事業に力を注いだ。

問 3.

(解答例) 200文字

鹿児島湾の入り口にそびえる開聞岳は平安時代まで噴火していた火山である。古くから船の目印となり、その麓に建つ薩摩一之宮・枚聞神社は航海の守り神として信仰を集めてきた。眼前に開聞岳を展望できる山川地区の伏目海崖には高温の蒸気が噴出しており、天然の砂蒸し温泉として人気がある。火口湖の跡である山川港には大量のカツオが水揚げされ、周辺の工場では上質のかつお節に加工される。その生産量は全国の約3割を占めている。

問4.

(解答例) 193字

鹿児島県の農業は全国有数の規模を誇っている。産出額の内訳を見ると、肉用牛、豚、ブロイラー、鶏卵といった畜産品が全体の半分強を占めており、その他にも、かんしょ（さつまいも）、茶、さとうきびなどの占める割合が比較的高いところが特徴的である。そして、こうした農産品の強みを活かした畜産関連の加工や焼酎製造なども盛んであり、製造業に占める食料品・飲料の割合は、製造品出荷額ベースで半分を超える。

問5.

(解答例) 【1】

①湧水町 ②郡山八幡 ③くも合戦 ④棚田 ⑤210 (±10mでも正解)

(解答例) 【2】 238字

霧島市は、県本土の中央部にあり、県花のミヤマキリシマや冬の樹氷など四季折々に彩りを変える霧島連山を有している。また、一帯には霧島温泉郷、霧島神宮温泉郷、新川渓谷温泉郷、日当山温泉郷といった4つの温泉郷があり、多くの温泉施設を楽しめる。

昭和47年には鹿児島空港の開港をはじめとした、高速交通体系が整備されると、大手企業の進出が進み、昭和59年には、「国分隼人テクノポリス開発計画」が国の一次指定を受けた。今では日本を代表するハイテク企業が立地するテクノのまちとして発展している。